

三協紙業
巻芯の最新技術

ツインコア—ABS+紙管
 プラコア—ABSミラータイプ
 メタルコア—アルミ超硬タイプ

三協紙業(名古屋市東区)
 TEL 052-908-0323

ツインコア (ABS紙管タイプ)

ツインコアは、ABS面平滑性を同時に実現したコアと紙管の長所を活かし、これにより、両端口金の材料でも高トルク衝撃に耐える接合技術を開発し、リユースによる低コスト化を実現しました。シームレス紙管の巻取り問題(内層突合)や、またアルミコアと紙管に転写の改善と、表面平滑性の改善と、近々発表の予定です。

プラコア (ABSミラータイプ)

自社製造するプラコアシリーズに、表面ミラー仕上げのタイプをラインアップし、本格的な販売を開始しました。



メタルコア (アルミ超硬タイプ)

同社が提供しているメタルコアシリーズに、アルミ超硬タイプがラインナップされた。高強度・耐食性に加え、真円度(○)・一回転を大幅に増やすことが可能になったこと。

デイスレー用フィルムを他社ABSコアに巻き付けた場合、二・三mm分のフィルムが不良となっていたが、ABSコア・ミラータイプの場合には、表面粗さが約0.04μmと従来の約3分の1に比べ約三分の一であるため、二mmほどのロスで済む(いずれも同社試験による)。しかし、単に鏡面仕上げしても取扱いは難しい。転写してしまつた効果は無い。同社製品は、業界で初めてこの問題をクリアし、表面粗さとハン ドリングの課題を同時に解決した。

フィルム特性・用途に応えたコアでコスト低減を実現

ツインコア
 ABSコア+紙管ハイブリッドタイプ

- シームレス紙管の層内シーム部起因の巻縮まり問題改善と表面平滑性を両立
- 口金取付け・識別管理のオプションも可能

プラコア
 ABSコア・ミラータイプ

- 表面特殊加工により転写痕を極限まで抑制し、フィルムロスを削減
- 表面粗さは約0.04μmと従来の約3分の1

メタルコア
 アルミコア・超硬タイプ

- 高強度・耐食性に加え表面平滑性・内径精度に優れ、加熱処理も可能
- カッター刃でキズつかずリユース回数アップ